


<p>6月</p> 	<h1>新羽小だより</h1>	<p>令和6年(2024年)5月24日 第603号 横浜市立新羽小学校 Tel 543-8871・8872 Fax 543-2915</p>
<p>ホームページ http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/nippa/</p>		

新しい羽

～チャレンジの羽 なかよしの羽～

校長 佐藤 恵子

5月14日、全校朝会で、運営委員会から今年度の新羽小スローガンが発表されました。今年度のスローガンは「新しい羽 ～チャレンジの羽 なかよしの羽～」です。毎年新羽小学校では、児童会の活動を通して新羽小スローガンを話し合い、決定したスローガンを全校に発信します。日々の学習活動や行事への取組のすべてにそのスローガンが活かされ、子どもたちは目標の一つとして意識します。自分たちが主体となって学校をつくっていく取組です。

自分たちはどんな学校生活を送りたいのか、自分たちはどうありたいのか、みんなが楽しく過ごせる学校とはどんな学校なのか、どんな仲間づくりをしたいのか、子どもたちは真剣に話し合いました。全校朝会ではステージ上に運営委員が集合し、みんなで工夫を凝らしてスローガンを発表しました。全校のみんなの心に届く立派な発表でした。

「チャレンジの羽」。学校生活には小さなチャレンジの機会があちらこちらにあります。どの授業でもめあてを立てて、それを達成できるようにがんばります。運動会の練習も毎日が小さなチャレンジの積み重ねです。子どもたちにチャレンジの機会をつくり、一人ひとりの主体的な取組を後押しするのが大人の役割です。

本校の学校教育目標の一つ目に「すすんで学習に取り組み…」というフレーズがあります。興味をもって自分から知ろうとする、自分で探しに行く、自分でゴールまでの道筋を立てるなど、いろいろなチャレンジを期待する言葉です。人は、自分で決定権をもって行動したことが周囲の人に認められると、自己肯定感が高まり、自分をかけがえのない存在だと感じる事ができます。また、自らの興味関心を膨らませて学び取ったことは、生涯にわたりその人を支える生きる力となります。受け身では決して得ることのできない力です。「チャレンジの羽」は、自己実現に欠かせない、自分らしく生きる力を得る素地と言えます。

さあ、いよいよ運動会。これまで子どもたちはチャレンジの羽をたくさん広げて運動会本番を目指してきました。一人ひとりがさらに大きな羽を広げて堂々とはばたく本番になることを祈ります。

